

愛媛県内施設における クリニカルパスの実態報告

国立病院機構愛媛病院

看護師長 西宮由美子

はじめに

愛媛県クリニカルパス研究会発足から5年が経過した。今回、県内各施設のクリニカルパス(以下パスとする)の現状を把握するためにアンケート調査を実施したので報告する

調査方法

無作為に抽出した愛媛県内の有床病院146施設を対象に2008年1月、パス担当者宛にアンケート調査を行った。

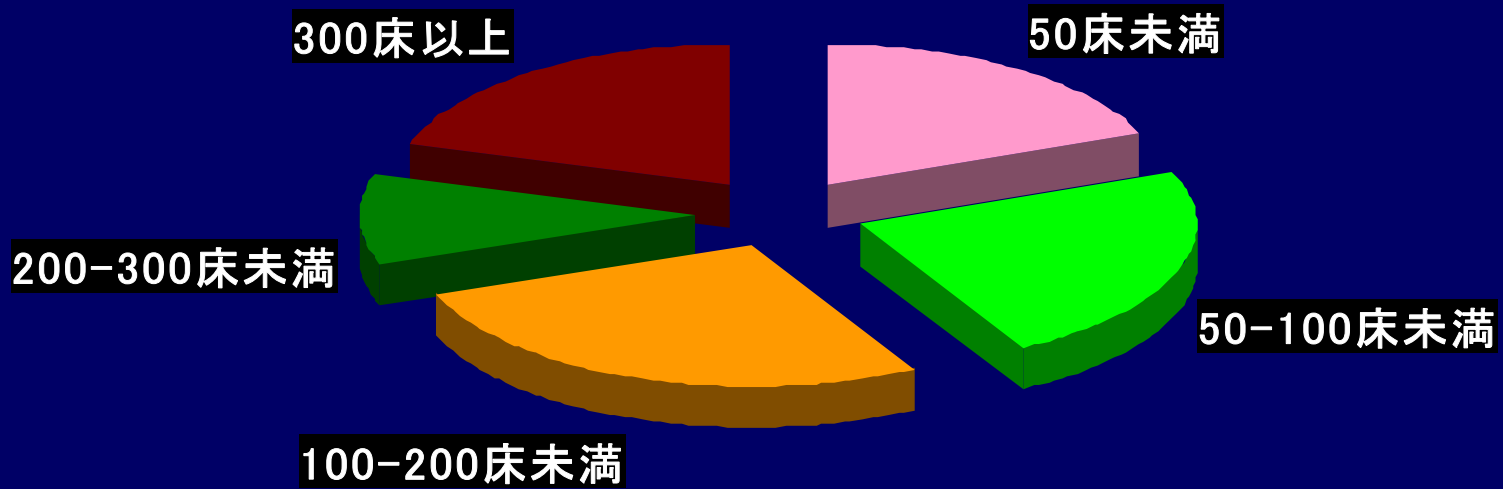
内容は1)病院の概要2)パスの作成と運用状況
3)作成したパスの承認・バリエーション集計・パスの見直し修正・パスの活用効果

結果

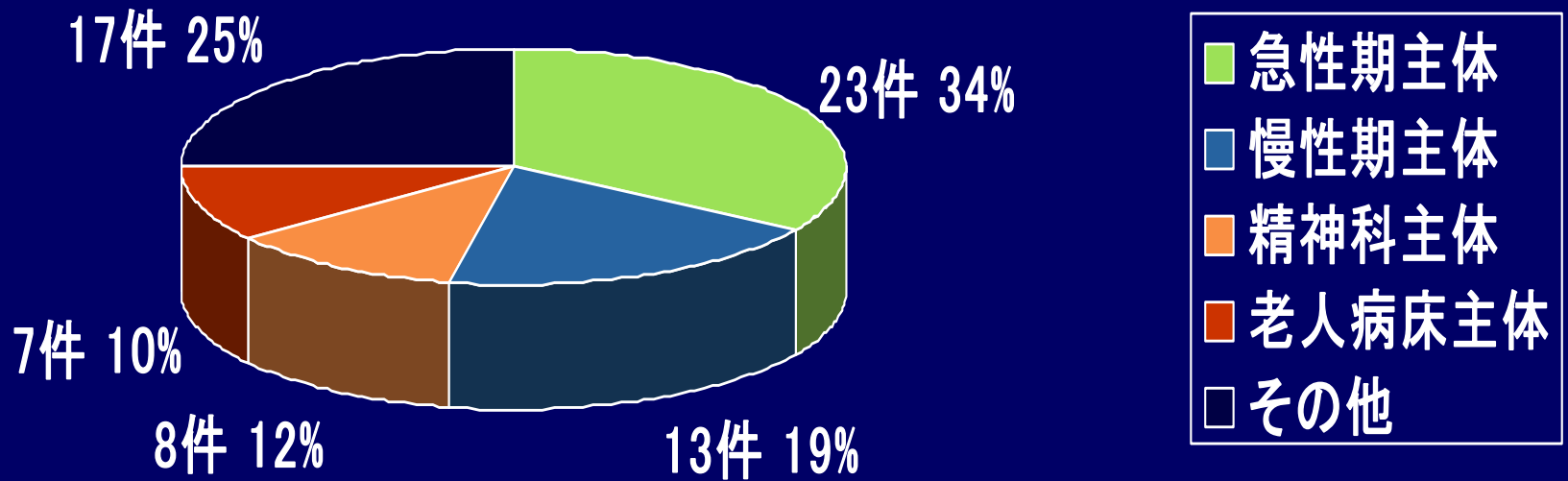
1. 回答病院の概要

無作為に抽出した愛媛県内の有床病院146施設の内70施設から回答が得られた(回収率47%)

回答病院の病床規模



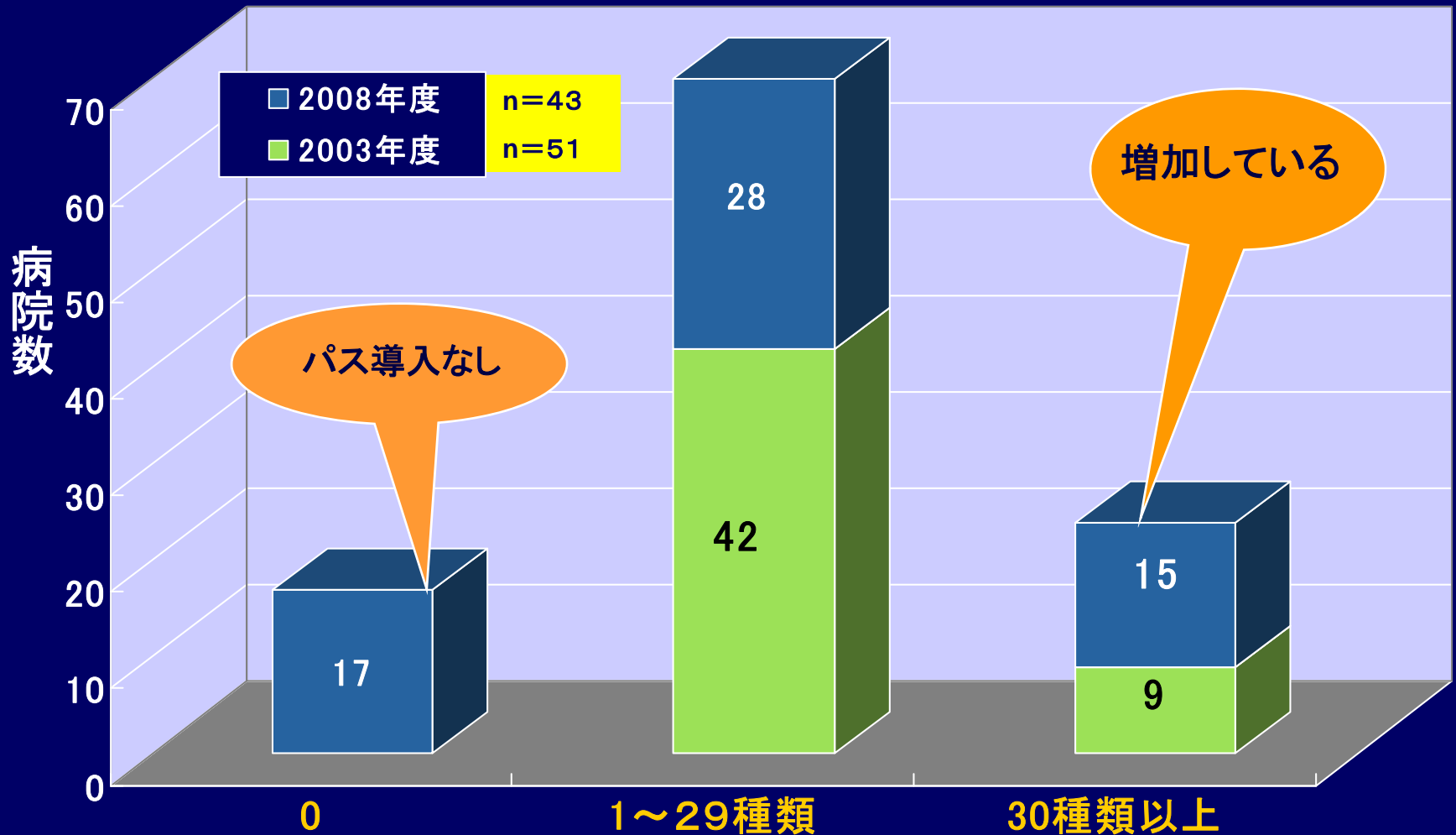
主たる施設機能



n=68

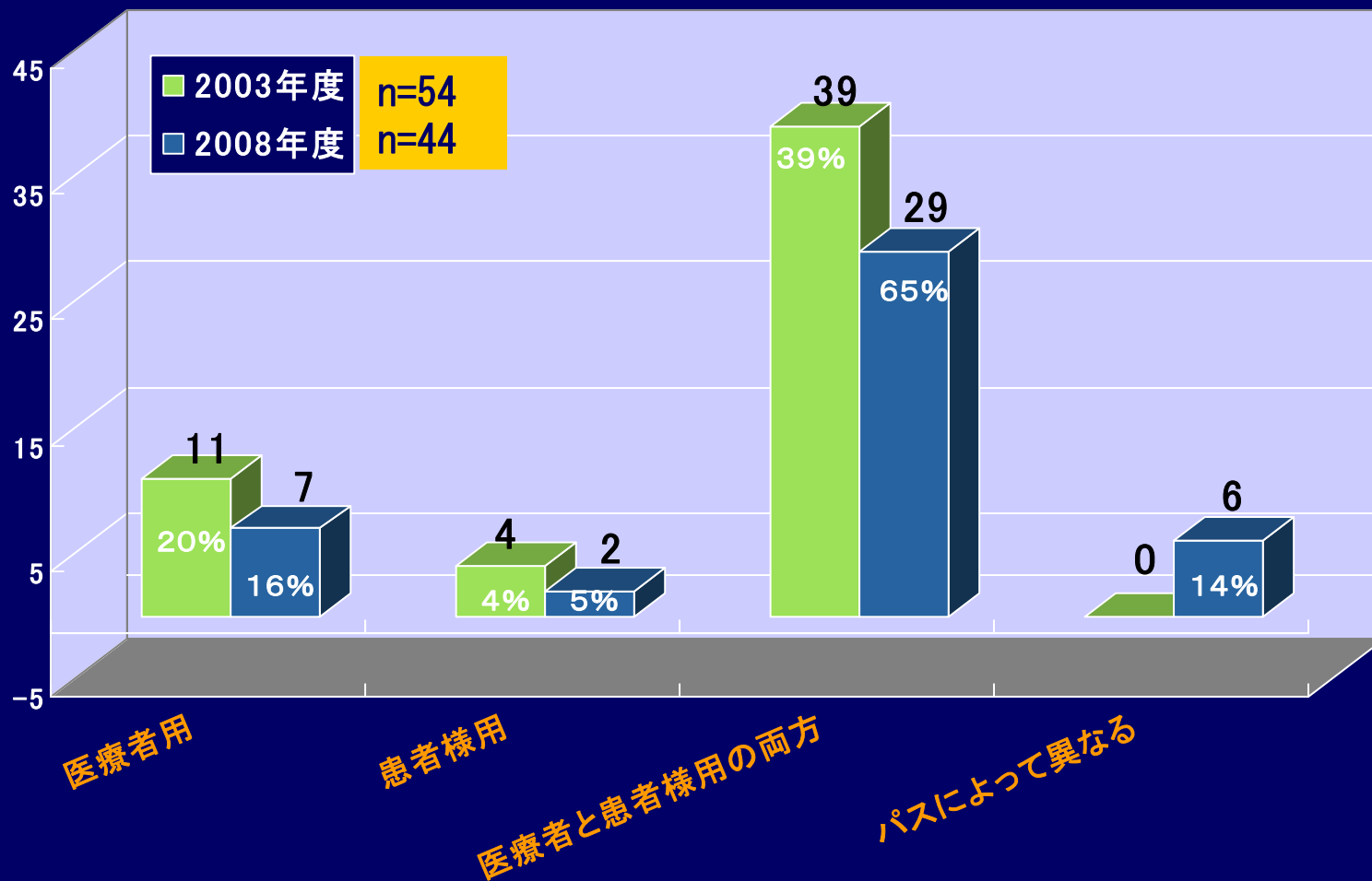
★急性期、次いでケアミックス型（急性期＋医療療養型）慢性期の施設が主である。

パス作成数



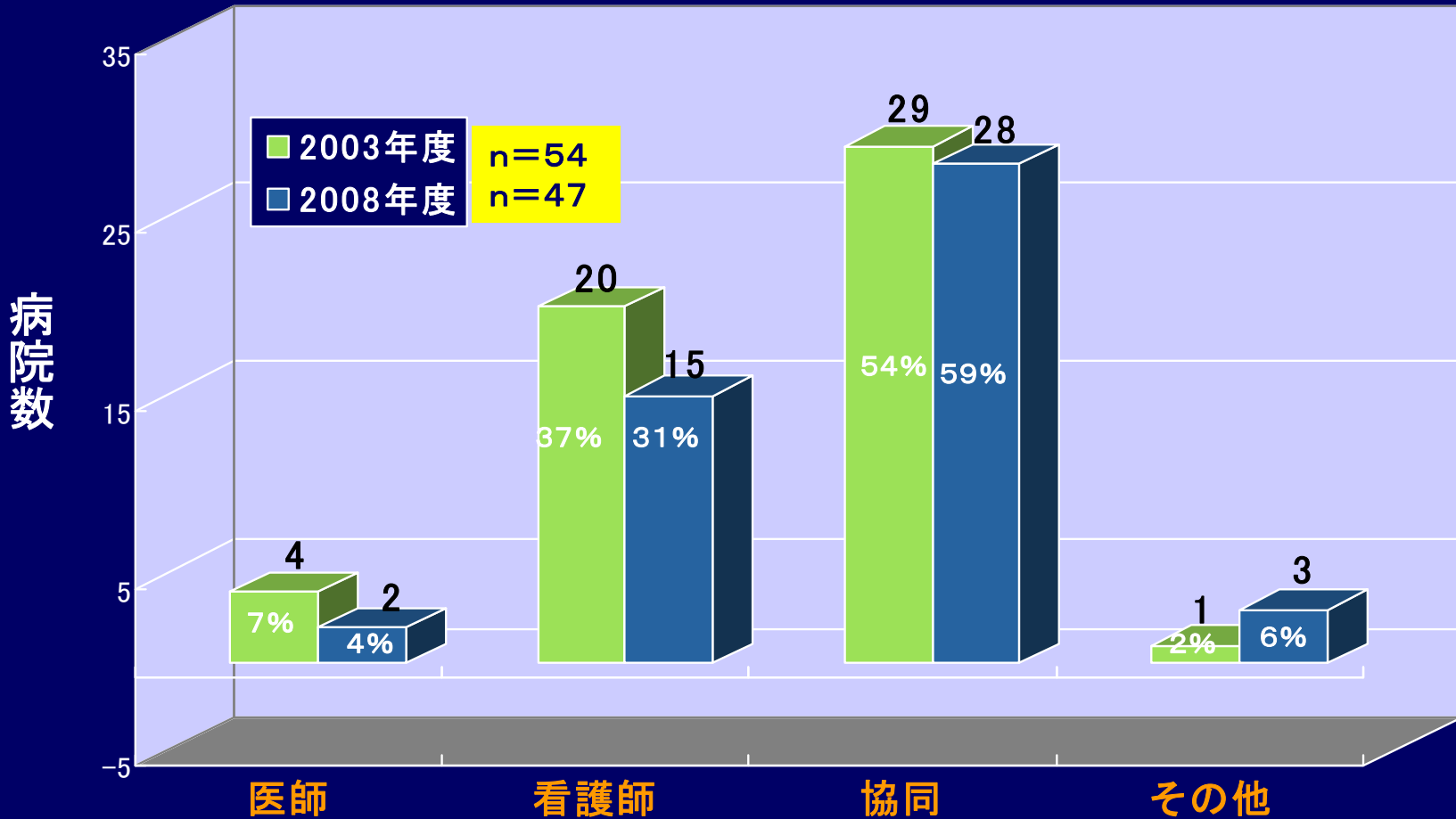
★ 5年前と同様30種類未満が最も多く、30種類以上ある施設も増加している。しかし、17施設は導入されていない

パスの種類



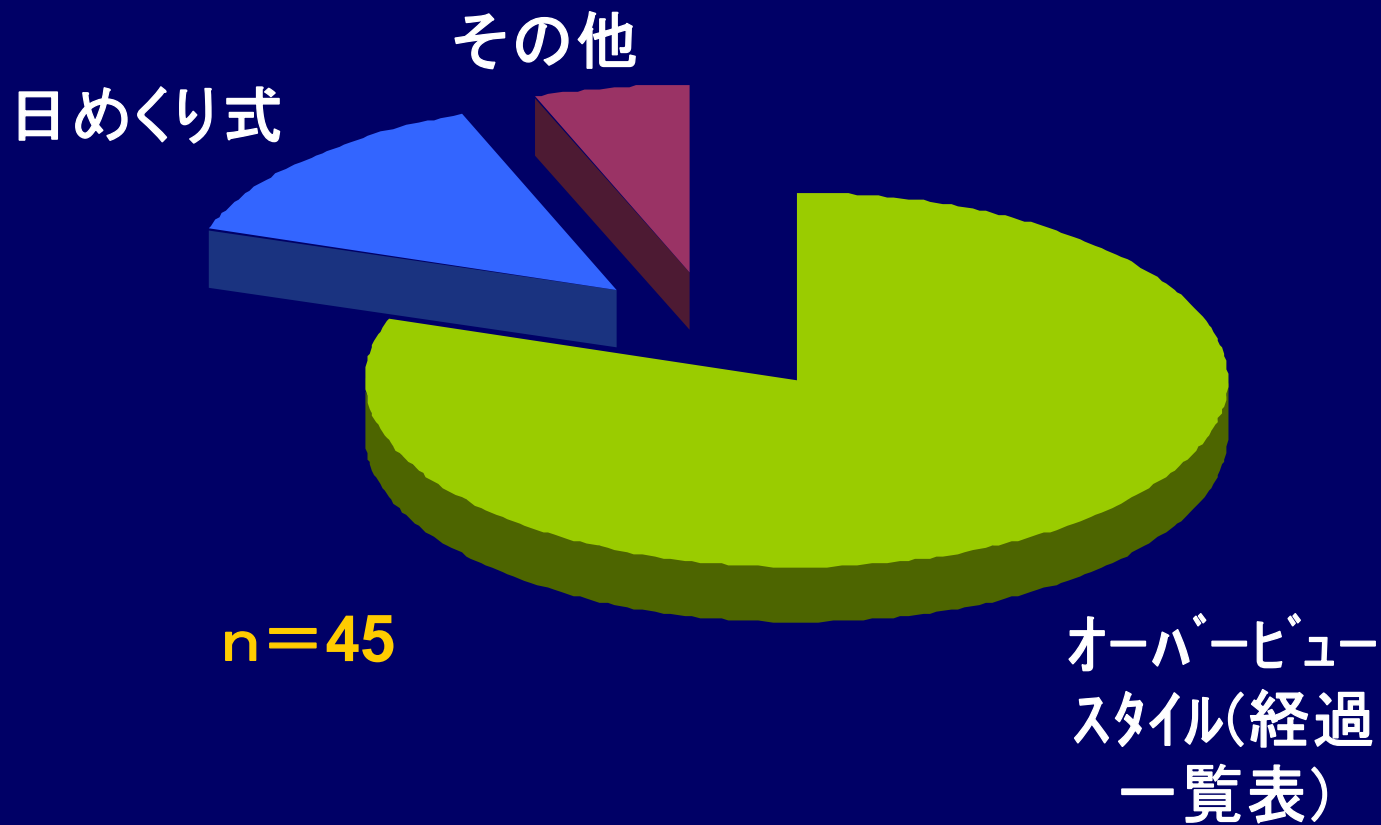
★殆んど医療者と患者様用の両方である

パス作成方法

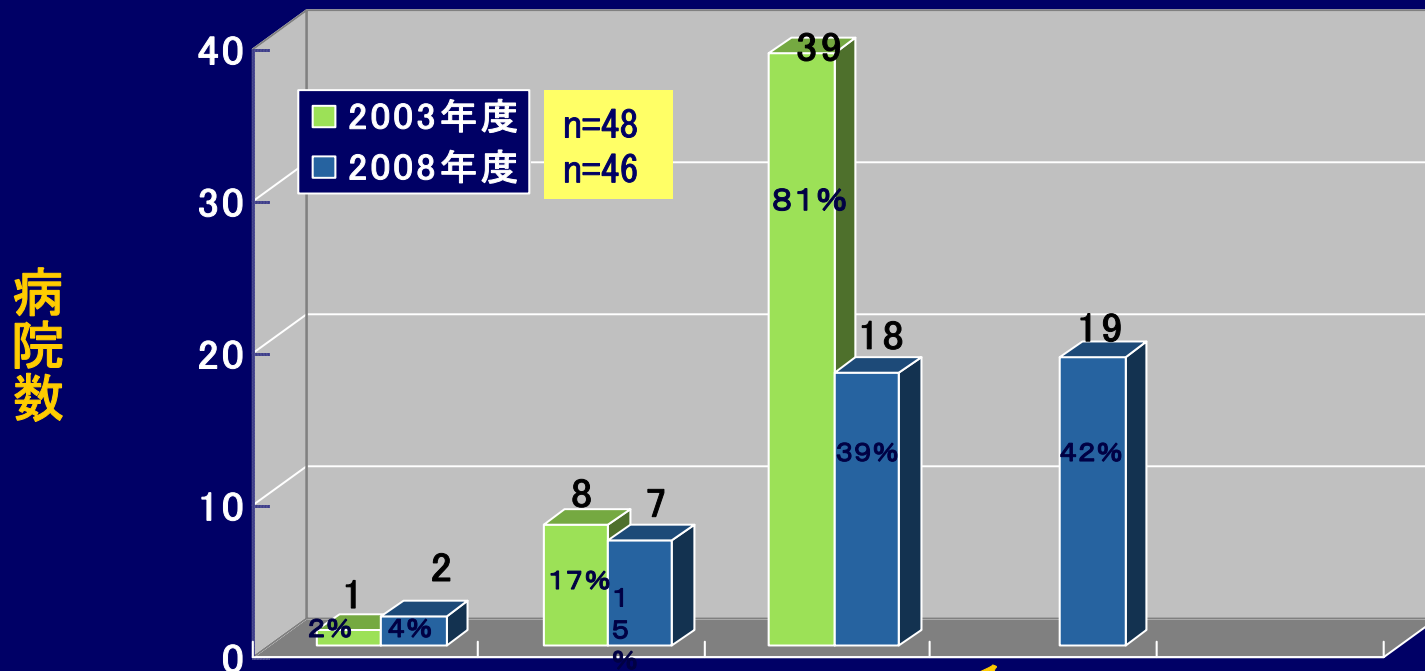


★医療チームでの作成が最も多く、次いで看護師のみの作成、5年前と大きな変化はない

パスの形式



パスの運用状況



全く活用していない
あまり活用していない
よく活用している
よく活用しているものと活用されていないものがある

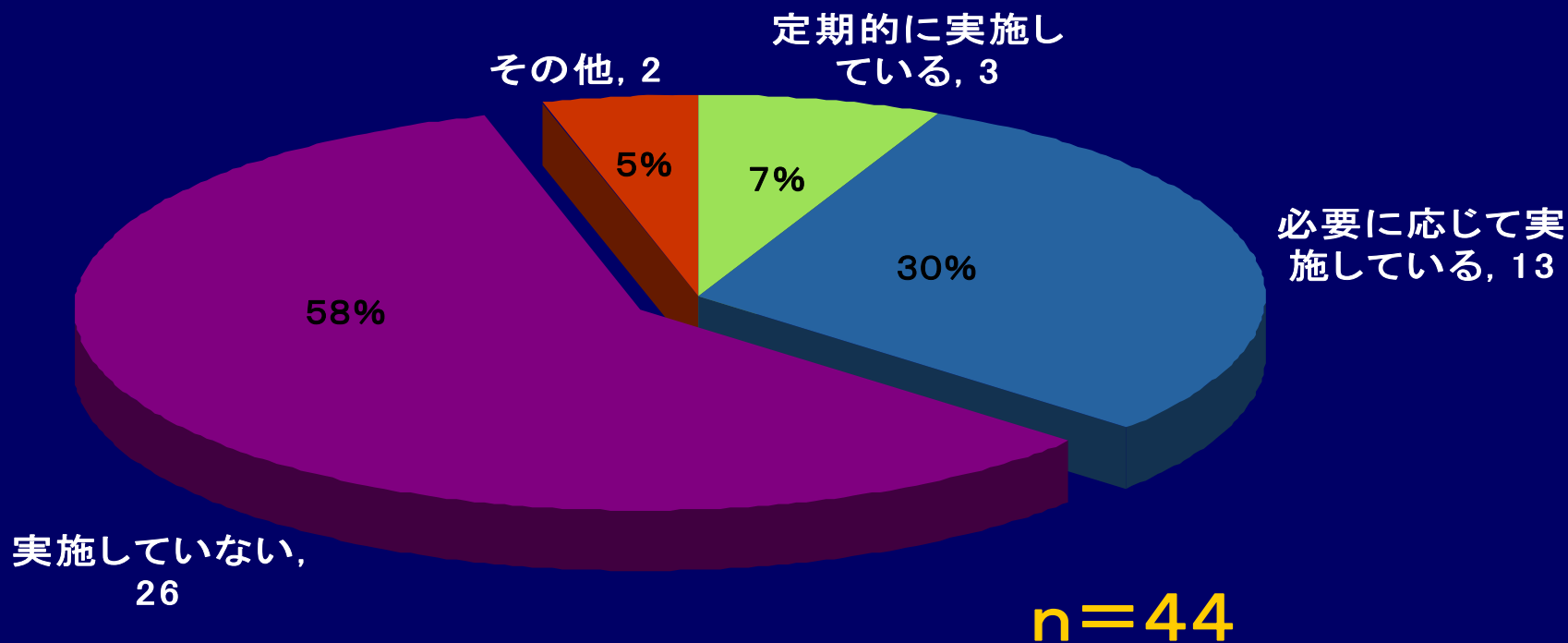
★パス使用率は5年前の方が
高く作成しても使用できて
いないパスもある。

パス承認を得る委員会の有無



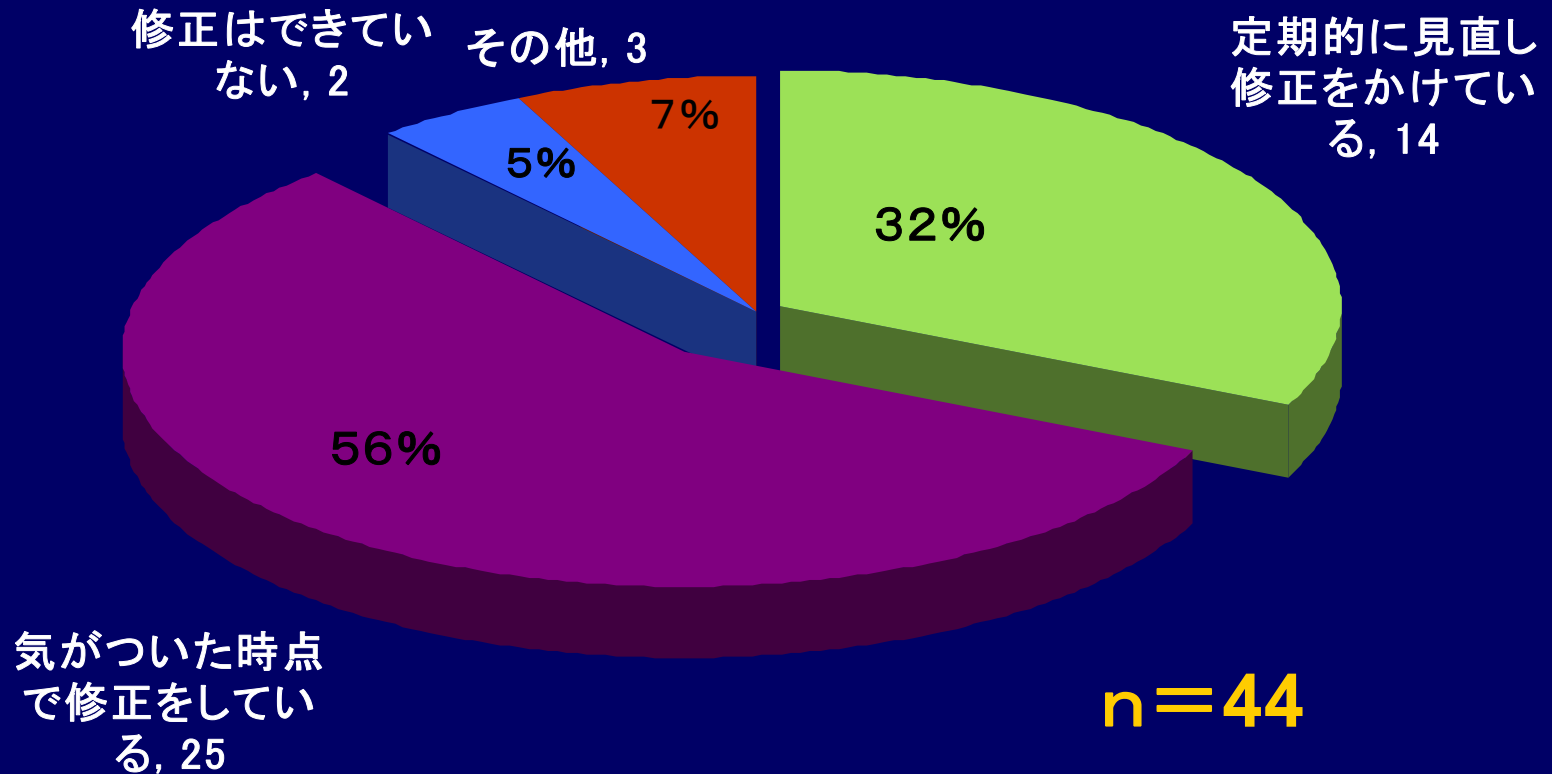
★パス承認を得る委員会の有無については
ほぼ同等である

バリアンス集計の実施



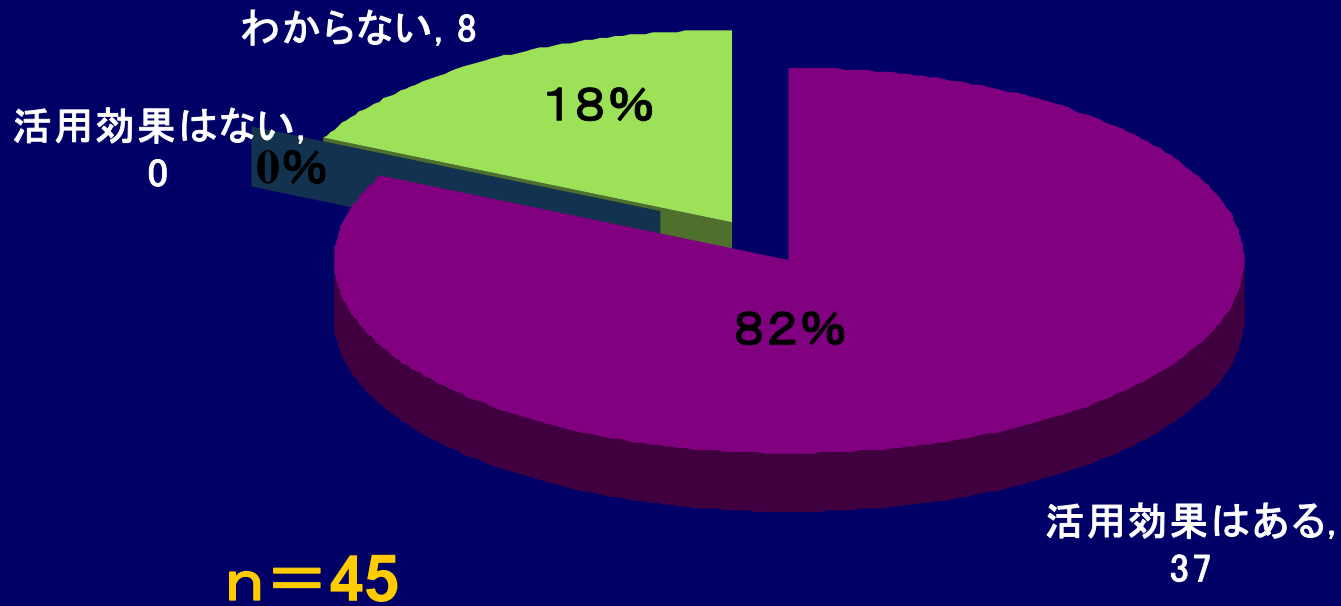
★3割以上は定期的、又は必要時に実施しているがバリアンス集計を実施していない施設が多い。

パスの見直し・修正



★見直し・修正は殆んどの施設が定期的、気がついた時点で実施できている。

パスの活用効果



★「パス活用効果はある」と8割以上が答えている

まとめ

1. 回答病院のパスの種類は医療者と患者様用であり、作成数は0～224と幅がある。形式はオーバービュースタイルが多い。
2. よく活用しているパスもある反面、使用できていないパスもある。しかし、活用効果はある
3. パス委員会は設置しており、パスの組織的な取り組みが進んでいる施設が多い。
4. バリエーション集計・パスの見直し・修正は定期的、必要時に行っている施設が多い。